

わき

第127号 2022. 5. 1

議会だより

楽しみにしてたよ
入園式 ☺

入園・

定住政策を継続 p 2
令和4年度は小休止予算 p 3～5
もっとくわしく聞きました p 6・7
一般質問 p 8～11
自治会長インタビュー p 12



和木町議会広報広聴常任委員会 E-mail : gikai@town.waki.lg.jp

3月
定例会

定住政策を継続

和木町住宅建設奨励金交付を2年間延長

73戸分 470万7千円

3月定例会は3月8日から23日までの16日間の会期で開かれ、報告3件、諮問1件、議案21件、発議1件を全会一致で可決しました。

一般質問では、4名の議員が登壇し、町政の様々な問題を議論しました。

住宅建設奨励金条例の改正

※住宅建設奨励金とは、住宅を新築した方、または新築を購入した方の家屋に対する固定資産税の一部について町が補助する制度

問 導入されてからの実績は。（栗本議員）

答 平成12年度からの支給で、令和2年度までの21年間に交付した戸数は524戸。1年間平均25戸、補助金は1戸1年あたり約6万円になる。

問 今回交付期限を2年間延長するのは、効果があつたと分析しているのか。



町内の新築住宅

答

奨励金の目的は、住宅建設により人口増を図ること。推移を見る限り人口増とはなっていないが、地価が高いと言われる本町に年平均25戸の住宅が建設されている。町独自の

制度の一つとして効果があると考え、期間を2年間延長するものである。

マイナンバーカード転出・転入
ワンストップ化

問 内容の説明を求める。（森脇議員）

答 マイナンバーカード所有者が、来庁せずにマイナポータルからオンラインで転出届と転入予約が可能となるよう、住民記録システムに取り込む機能を追加するものである。

会計年度任用職員報酬の減額

問 こども園の会計年度任用職員報酬が900

万円減額されている理由は。（嘉屋議員）

答 職員の有給休暇の際に会計年度任用職員が確保できなかったため。

問 現在、こども園の職員は有給休暇がほとんど取れてないということか。

答 一定程度は取得できているが、全ては取れてないということ。常時、会計年度任用職員の募集を計上し確保に努力しているが、応募が少ない状況である。

和木町国民健康保険条例
の改正

問 未就学児がいる国民健康保険加入世帯について問う。基礎賦課額の均等割額が半額になるということだが、減額となる世帯についてどう説明するのか。（上田議員）

答 広報等で説明していきたい。また、納付書を発送する際に内容を周知できれば検討したい。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

村上邦明氏の任期が6月末で満了となるため、引き続き人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦することを全会一致で同意しました。

ロシアのウクライナ
侵攻に抗議する決議
を可決

ロシアによるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なうものであり、国際秩序の根幹を揺るがす暴挙であることから、抗議の意を表明するとともに、即時の攻撃停止と完全撤退を求めるため、議会は国に対して、国際社会と連携し制裁措置を含む迅速かつ厳格な対応を行うよう要請しました。

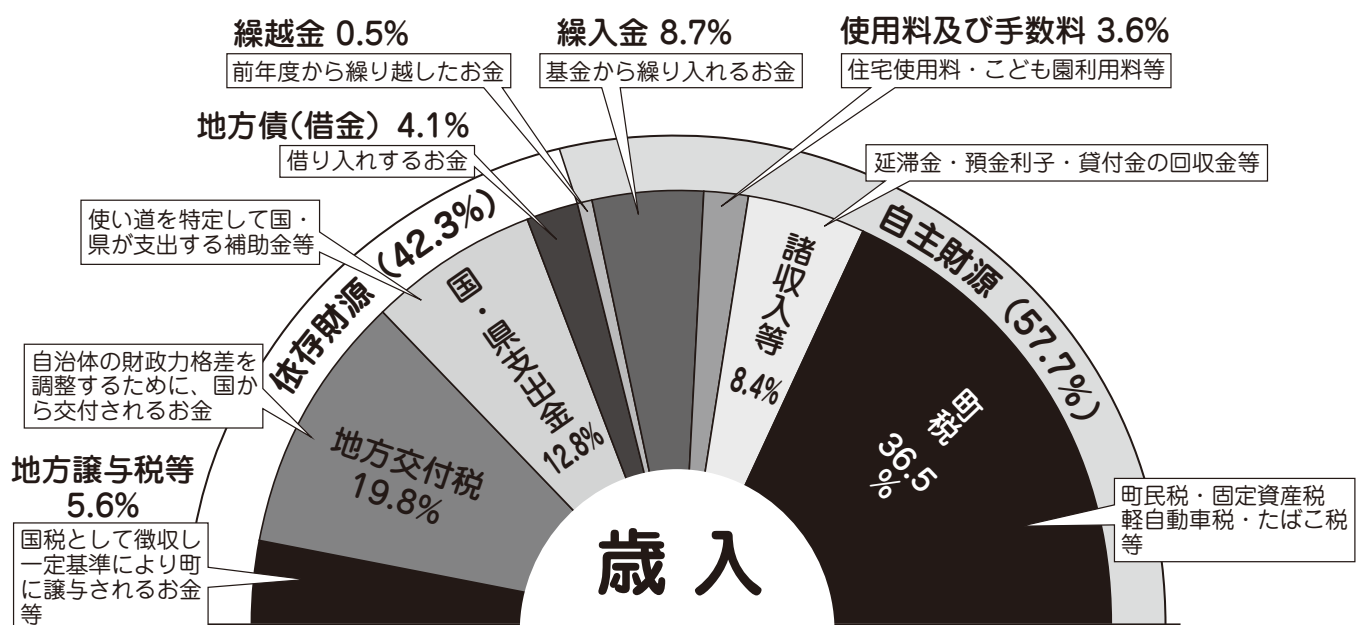
決議案は栗本詠子議員が提出し、全会一致で可決しました。

大型事業の終了で 小休止予算

一般会計 37 億 4926 万円（前年比 12% 減）

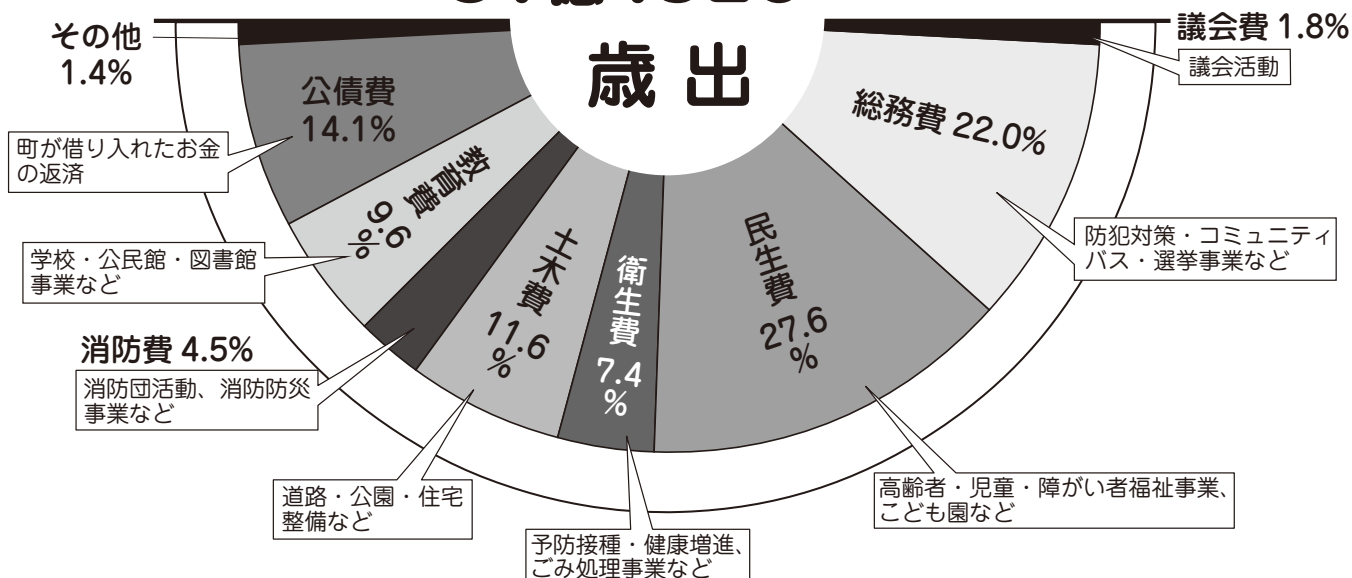
公債費（借金返済）5 億 2869 万円 がピークに

こども園や岩国市ごみ焼却施設の元金償還額が増加したため



37億4926万円

37億4926万円



予算特別委員会での

質疑



子育ての充実を

問 認定こども園の給食は、物価高騰の折、賄材料費970万5千円で足りるのか。

(中村委員)

答 3歳未満児は一人につき給食205円、おやつ110円で算出している。食品価格上昇等の動きはあるが、現時点で不足はない。

町の財政収入

町民税の減額理由は。

(上田委員)

答 コロナ禍で収入が減ったことを考えている。

問 コンビニでのタバコの売上げは、たばこ税として町の歳入になるのか。

(嘉屋委員)

答 たばこ税として町の歳入となる。

問 地方消費税交付金の増額理由は。

(上田委員)

答 国の地方財政計画に基づく試算によるもの。消費税率10%の内、2.2%（軽減税率時、1.76%）が地方消費税として都道府県により課税されている。輸入されたものにも課税されるため、たとえば、輸入量が同等であれば、原油価格の上昇等により消費税額は上昇する。

魅力的な街づくりのために

問 ふるさと納税事業は順調か。

(中村委員)

答 概ね3千〜4千万円程度の収益を確保している。

ふるさと納税事業のPRの継続や新たな返礼品の研究を通じて、町の財政運営の一助となるよう努める。



写真はイメージです

新たに返礼品に加わったうなぎ

問 地域おこし協力隊の増員理由は。

(森脇委員)

答 将来の和木ちゃんねる制作の担い手となる人材を地域おこし協力隊として受け入れ、本町の地域活性化と情報発信の強化を図るため。

和木ちゃんねる
WAKI channel



問 町制施行50周年記念事業の日程と内容は。

(栗本委員)

答 記念式典の開催は令和5年の秋（10月〜11月）頃を予定している。

記念のロゴマークやキャッチフレーズを令和4年7月〜8月頃に募集し、その他具体的な内容や日程は、今後、検討していく予定である。



3歳未満児のおやつ

問 他市町への委託保育料23人分予算計上の根拠は。

(灰岡委員)

答 予算要求時の委託保育人数で岩国市20名、大竹市3名。人数が増えたら、補正予算で対応する。

健康

問 予防接種委託料の内容は。

(森脇委員)

答 予防接種法に基づく定期接種を、医療機関で接種するための個別接種委託料。ワクチンの「標準接種料金」を単価とし、対象者数を掛けて算出している。インフルエンザ48人(高3)、57人(中3)・子宮頸がん522人。



安全と防災

問 住宅環境改善支援事業の会計年度任用職員報酬の内容は。

(栗本委員)

答 和木4丁目、5丁目に限定されていたエアコンや断熱サッシの取付の補助が令和4年度から町内全域に拡大されるため、その申請受付に係る補助職員の報酬を計上。(県交付金を活用)



補助が町内全域に拡大

問 ハザードマップは、南海トラフを見据えて作成されるのか。

(森脇委員)

答 巨大台風の接近・通過により発生する高潮による浸水想定区域を見直すことから更新、作成されるもので、南海トラフ地震を見据えたものではない。



《財政チェック》

Q 公債費や地方債(借金)残高、財政調整基金(貯金)の最近の推移はどうなっている。

A 公債費は令和5年度から減少する。財政健全化も維持する。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和4年度(予定)
公債費	3億9560万円	4億340万円	4億1550万円	5億2860万円
地方債	56億7100万円	54億9970万円	54億310万円	51億3060万円
財政調整基金	11億6170万円	11億7210万円	12億6330万円	14億670万円(3年度末)

Q 令和3年度で終了した米軍再編交付金の行方は。

A 平成19年から始まった再編交付金は一旦終了したが、15年間継続の方針は決まっていた。ただ金額や名称が決まらず当初予算に入れていない。

* 4月1日付で名称は「米空母艦載機部隊配備特別交付金」となり、和木町には2億5300万円の交付が決定した。町の福祉や医療政策に充てられる。



教育

こども園・小・中学校、コロナ禍での現状は

(森脇委員)

問 感染対策や学校生活の変化、図書室の利用やわきっこクラブへの影響は。

答 玄関や全教室に手指消毒の設備を設置し活用。下校後にトイレなど共用部分も消毒をしている。

密を避けるため、学年を超えての交流やグループでの話し合い、歌を歌うなどは控えている。図書室は滞在時間を短くするためテーブル・イスを撤去。わきっこクラブは常時窓を開放し、密を避ける工夫をしながら学童保育をしている。

こども園・小・中学校の避難訓練

(灰岡委員)

問 どのような状況を想定して訓練をしているのか。保護者や地域住民等への周知状況は。

答 年間計画を作成し、地震・水害（津波等）・火災

を想定した避難訓練を実施。中学校では、不審者対応の避難訓練も実施している。園・学校だよりの配付や学校評価アンケート等で周知を図っている。



こども園での避難訓練

パソコンを使った授業の内容

(小林委員)

問 パソコンを使ったプログラミングやリモート授業のウエイトが高いと思われるが、現在の状況は。

答 小学校では、算数や理科でプログラミング学習に取り組んでいる。また、総

合的な学習の時間においても活用。中学校では、技術科で自分の考えたプログラムのとおり動かす小型ロボットの学習や、パソコン上でのチャット（文字によるコミュニケーション）制作学習を行っている。リモート授業は、校内や園・小・中間で必要に応じて実施。

電子図書館の導入は

(中村委員)

問 昨年から岩国市が電子図書館の運営を開始したが、町では電子図書館の運用は考えられないか。

答 電子図書館の導入は、メリットやデメリット、導入費用、ランニングコスト等、調査研究をさせてほしい。

健康・福祉

コロナワクチン接種の状況

(嘉屋・栗本委員)

問 3回目の進捗状況と今後の予定は。

答 医療従事者は12月から開始し、高齢者施設の入

居者と従事者は1月21日に完了。その他の方は、3月9日に高齢者接種を完了し、18歳以上65歳未満の接種は4月末に完了の見込み。

注目されている高齢者の見守り事業

(上田委員)

問 高齢者人口が増えている中、福岡市等で社会福祉協議会が実績を上げている。町でも取り組みができないか。

答 町の65歳以上の高齢者数は1746人、高齢化率は28・75%と上昇傾向である。社会福祉協議会、民生委員、福祉員が各地域で連携し見守り活動を行っている。

各委員が、訪問、声かけ、散歩途中での観察等、独自の方法で実施。町が社協に委託している事業は、パン、乳酸菌飲料、弁当の配布。週3回程度、機会をつくり見守りを行っている。その他、郵便事業者など11の企業とも見守り協定を結び、異変を発見した場合に町へ連絡してもらう体制をとっている。



町内の課題

もっとくわしく

生活・環境

コロナ禍での町内事業者支援制度は

(森脇委員)

問 和木町中小企業事業応援給付金の申請数及び給付実績は。次年度に予定している支援策は。

答 11月から受付を開始した和木町中小企業事業応援給付金は、申請及び給付件数が39件390万円。令和4年度以降の町内事業者の支援策は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用も含め検討。

マイナンバーで行政サービスの利便性向上

(兼本・津島委員)

問 町のマイナンバーカードの普及率は。マイナンバーの利用で各種電子申請はできるのか。

答 令和4年2月末現在の普及率は47・6%。令和5年度にマイナンバーを活用したパスポートのオンライン申請が可能となる。令和5年2月頃には、転出・転入ワ

ンストップ化で、オンラインで転出届と転入予約が可能となる予定。また、現在、LINEの和木町公式アカウントにて行政サービスの申請ボタンを配置し、電子申請手続き画面に誘導する仕組みを検討している。



カードの申請はお済みですか。

ごみ収集場所のコンテナ型への改善は

(津島委員)

問 道路脇にゴミ袋を集めるネットをかけただけの収集場所が見受けられる。改善は難しいのか。

答 コンテナ型のごみステーションを設置した場合、通行人や通行車両の妨げとなる。付近に町有地がない等の理由から、自治会長と近隣居住者等の合意のもと、ネッ



ネット型のごみステーション

ト型あるいは鳥居型のごみステーションを設置している。

生まれ変わる蜂ヶ峯公園

(兼本委員)

問 コロナ禍による公園の利用者数・売上げの変化は。バラ園リニューアルの事業計画は。

答 コロナ禍による公園の有料施設等の利用制限は延べ約4ヶ月にわたり、その期間は利用者数・売上げとも大きく落ち込んだ。しかしながら、2月末現在の利用者数は約15万人でコロナ前の年間

利用者数を少し上回る数値となっており、Bee+効果により公園全体の売上げ総額も増加している。バラ園は山口県ゆめ花開花プロジェクト推進事業を活用してリニューアルを行い、大型のアーチ2基、自動散水システム、ベンチテール、看板等を設置予定。土壌改良を行い、バラの状態の良いものは移植、新しく2500本植える。また、参加型イベントを開催し、住民の方やボランティアの協力をいただきながら、愛されるバラ園に整備していきたい。



リニューアルに向けて作業が進むバラ園

高齢者へのICT活用の 取り組みが必要では

もりわき あけみ
森脇 明美 議員



企画総務課長 高齢者向けスマホ教室の開催を予定する



スマホに取り組む高齢者

質問 高齢者のスマホ・タブレット等デジタル機器の保有拡大のための支援策は。

課長 令和4年度に高齢者向けスマホ操作教室を年3回開催予定。

質問 社会からの孤立を防ぐツールとして、また在宅高齢者の見守り、オンライン相談・診療等、在宅介護・看護・医療という地域包括ケアの充実にICTの活用が必要ではないか。

保健福祉課長 今後の地域包括ケアの充実には欠かせないものだが、効果的に対応するのは運用面・費用面等非常にハードルが高い。

デジタル機器の環境が整うまでは、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを着実に進め、ニーズやICT環境の状況把握に努める。

質問 自宅でも介護予防が行えるオンラインによる交流事業の検討は。

課長 昨年1月からアイ・キャン和木チャンネルで「いきいき体操」を送っている。オンラインによる交流事業はニーズの把握から始めたい。

質問 コロナ禍において介護を必要としない高齢者、要介護状態に至る前段階の方（フレイル）への民生委員や福祉委員の活動は。また行政との連携は。

課長 電話での状況把握や夕方に家の電気が点いているか確認する等、見守り活動を継続している。まん延防止解除以降は、

地域包括支援センター職員による戸別訪問やサロン等で高齢者の健康確認を行っている。今後、質問用紙によるフレイルチェック等で現状把握やフレイル予防を推進していく。



サロンでのフレイルチェック

がんを予防するHPVワクチン接種の積極的な勧奨を差し控える旨通知があったが対応は。

課長 ホームページや広報紙で周知し、医療機関にも国のリーフレットを掲示するよう依頼した。

質問 令和3年11月、積極的な勧奨の差し控えを終了する旨通知があったが対応は。また勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方への対応は。

課長 令和4年4月から、対象年齢の小学6年生から高校1年生相当の女子への呼びかけ文書や予診票を個別に通知し、積極的な勧奨を再開する。接種機会を逃した方（平成9年度生まれから平成17年度生まれの女子）も国の方針に従い適切に周知していく。

*子宮頸がんワクチン
接種再開への対応は

質問 平成25年6月、厚生労働省より子宮頸

Q コロナ禍に対する町独自の 支援対策は

うえだ じょうじ
上田 丈二 議員



企画総務課長

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用も含め考えていく



5歳～11歳接種に使用される注射器

質問 新型コロナウイルス感染症対応で5歳から11歳に対するワクチン接種の種類と接種方法は。

保健福祉課長 ファイザー社製のワクチンを使用し、

12歳以上の成分量の3分の1となっている。注射針も12歳以上と比べ細くて短い針を使用する。接種については、保健相談センターでの集団接種のみとなっている。

3月16日から開始し、以後毎週水曜日と金曜日に実施し、3週間の間隔をおいて2回目の接種を行う。

質問 無症状で感染に不安を覚える方に対して、PCR検査、抗体定性検査等が設置されているが、周知方法は。

課長 感染への不安がある無症状の方を対象にした無料のPCR検査について町では、広報、アイ・キャン和木チャンネル、ホームページ等で知らせている。

また、和木町保健相談センターを窓口として、電話があった方には、山口県からご自宅に検査キットの送付を3月31日までの期間で実施している。

※現在6月30日まで継続実施している。

質問 昨年末に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が国より交付されたが、町独自の支援対策は考えているのか。

企画総務課長 令和2年、3年と町独自の支援策とし

令和2年、3年と町独自の支援策とし



5歳～11歳接種会場

て、コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対する助成をはじめとして、医療機関や福祉施設等への助成を行ってきた。

令和4年度の事業については、今後、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用も含め、こういった事業ができるか検討していく。

質問 新型コロナウイルス感染症拡大の第6波は、在日米軍に原因があるといわれている。水際対策を講じることが日米地位協

定により難しいとされているが、基地への要望を考えているのか。

町長 日米地位協定については、これまでも毎年、山口県及び地元2市2町の基地関係県市町連絡協議会から、事件・事故に関する事項をはじめ、見直しに関して対応を図るよう要請を行っている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の徹底について、山口県や岩国市と歩調を合わせ要請を続けていく。

こども園の0～2歳児の入園状況は

はいおか ひろみ
灰岡 裕美 議員



教育委員会事務局長 令和4年度は2歳児の定員を6名増やし様子を見る

質問 子育て中のお母さん方から「仕事を始めるために0歳の子どもを預けたいと、役場に行ったら定員いっぱいのため、他の施設を紹介された。小学校入学後を考え、町のこども園に入れたかった」との声を多く聞く。

事務局長 旧保育所と比べ0～2歳児の定員は増えたのか。

局長 旧保育所の定員0歳児12名、こども園12名。旧保育所の定員1歳児24名、こども園24名。旧保育所の定員2歳児24名、こども園30名と、なっている。

質問 令和2年度途中に入園希望のあった年と人数は。

事務局長 0歳児は、13名の希望があり、他市町への委託が6名、育児休業の延長が2名、空き次第連絡するという方が5名。1歳児は、5名の希望があり、3名他市町へ委託、2名は空き次第連絡。2歳児は2

名の希望があり、2名とも他市町への委託を行った。

質問 和木こども園に入園できない場合の町の対応は。

事務局長 毎月10日に申請を締め切り。定員に達していた場合は、町外への希望があれば、大竹市や岩国市へ広域の利用調整を行っている。

翌年度の入園希望者に対しては、11月下旬にこども園で入園説明会を行う。申請期限は、1月末で、入園決定は3月上旬になる見込みである。

質問 和木こども園に入園できない場合、どう調整するのか。

事務局長 申請書の中に第1, 2, 3希望と要望する事項があるので、それに沿って調整する。

質問 今後の取組みを聞

事務局長 和木こども園の3号子どもの利用定員

については、令和4年度2歳児の定員を6名増やして36名引き受けることにしている。

質問 令和4年度から実施するということか。

事務局長 令和4年度に6名増やして、様子を見て令和5年度からの対応を考える。

質問 幼稚園教諭や保育士の人材不足は全国的な課題となっている。しかし、保育スペースが確保されているにも関わらず、人材の確保ができないために、入園できないという現



「雨が降っても遊べるよ」

在の状況を町長はどう考えるか。

町長 新しい園舎が完成したにも関わらず、入園できない子どもがいる。ことは申し訳なく思っている。どうしたら定員が増やせるのか担当部局に指示したところ、最終的に人材不足という壁が立ちはだかり大変難しいのが現状だ。その中でも、職員は毎日園児の怪我がないようがんばっている。今後も改善の余地はないかを探って、取り組んでいきたい。

その他の質問

本町の就学支援の状況について。



大人気のふわふわドーム

Q ファミリー・サポート・センター 事業の早期実施を

くりもと えいこ
栗本 詠子 議員



町 長 広域的な利用も含め調査研究していく

質問

和木町子ども・子育て会議委員、民生委員、児童委員等からファミリー・サポート・センター事業についての意見や要望はあるか。

ファミリー・サポート・センター

厚生労働省が実施要綱を定め、子育て支援事業を行うために、保育所などの保育施設ではない地域における「相互援助組織」子育て中の援助を受けたい方（依頼会員）と保育活動の援助を行いたい方（提供会員）が会員登録し、事務局（アドバイザー）が連絡・調整等の橋渡しを行う。

警署長
事務局

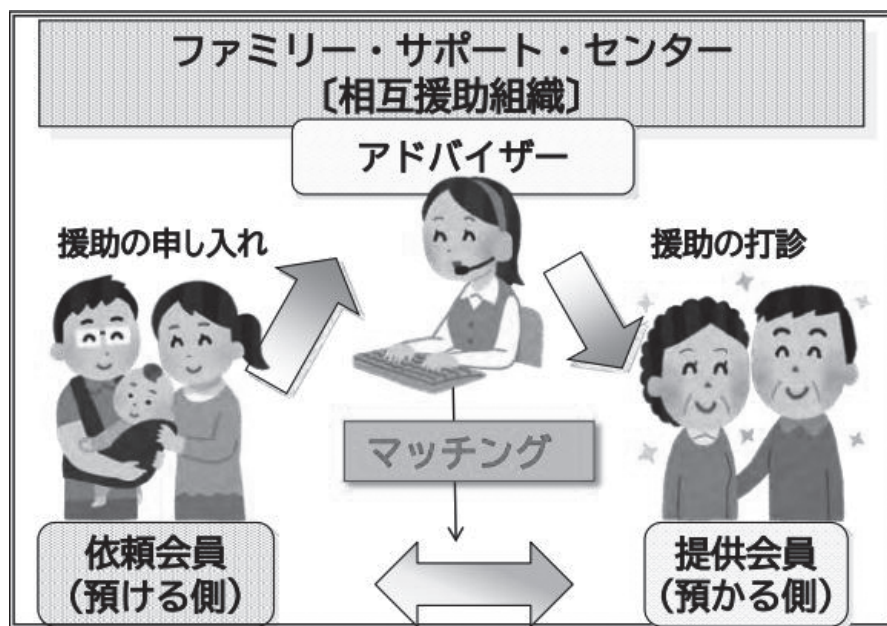
和木町子ども・子育て会議委員から、岩国市のファミリー・サポート・センターに和木町からの利用相談があり、希望者が少数であってもニーズがある。町独自の実施が

難しければ、町外への委託を検討し、事業の早期実現を期待する旨の意見があった。

保健福祉課
課長

主任児童委員から、岩国市のファミリー・サポート・センターは岩国市民だけが対象であるが、

和木町民も利用することができないかとの意見があった。今後、岩国市のファミリー・サポート・センターを利用するのであれば、利用方法、負担金などの調整が必要となる旨を回答した。



ファミリー・サポート・センター

質問

ファミリー・サポート・センター事業の今後の実施予定は。

警署長
事務局

町単独で実施することが可能か、広域で実施していくのか検討すると共に、相互援助活動の中で子どもの事故についても関係各課と協議しながら調査研究課題としたい。

質問

町長の見解を問う。

町長

人口の少ないところでは難しく、単独設置においては、ボランティアスタッフの登録があるのかという懸念がある。また、利用者数も調査する必要がある。広域での実施についても他の市町の承諾が得られるのか等、不安材料を一つひとつ調査研究してどのような形で設置できるのか検討したい。



インタビュー記事

あなたの地区を紹介してください

- ①地区の特色や活動
- ②会長さんの趣味

【自治会長さんに聞きました】 パートV



〔山の手自治会〕吉川 健治 さん

- ①当自治会はおよそ100世帯で、ご高齢の方から若い世代の方まで幅広い年齢層が集う自治会です。コロナになるまでは、4～5月(こいのぼり掲揚)、7月(夏祭り)、10月(子供会ハロウィン)、1月(とんど・餅つき)、2月(防災訓練)、3月(ピンゴ大会)など、高齢の方たちの知識と若者のパワーがひとつになってイベントを行っていました。コロナと共存できる日が来たら少しずつイベントを再開し、再びたくさんの笑顔が集えば嬉しいですね。自治会役員はみんな、仕事をしながら片手間で自治会業務をしています。疲れた時は、自治会内の中華食堂さんでエネルギーチャージ!
- ②スキー。真っ白なゲレンデをスピードに乗って風を切っている時間は最高です。



〔新地自治会〕東屋 延夫 さん

- ①新地自治会は国道2号線をはさんで4丁目(和木駅側)と5丁目(三井化学側)に約160世帯の会員が住む自治会です。国道2号線をはさんでいる為、副会長を2名として、それぞれ4丁目、5丁目を担当してもらっています。行事としては毎年11月に行なうモチつき大会、又、上灰場、中灰場、沖灰場と新地の四地区合同で行なう1月のとんど、夏の盆踊りを行っています。又、3月の総会では弁当を食べながらお酒も入りピンゴゲームで盛り上がりします。最近では若い人達が家を建て小さな子供さんが増えました。
- ②・弓道60年、玖珂地区弓道連盟(副会長・事務局長)
* 仕事が休みの時は蜂ヶ峯の弓道場で春はウグイス、キジ、夏はセミ、秋は赤トンボ、冬はカラス、スズメと遊んでいます。
・競技綱引き審判員(AA)36年、日本綱引連盟公認審判員(山口県審判長)
* 毎年11月に行なわれる中国大会で笛を吹きに行っています。



〔つつじヶ丘自治会〕木坂 高明 さん

- ①蜂ヶ峯公園の中腹高台にあり、124世帯の静かな団地です。平成元年に入居した頃は子供も多く、にぎやかな団地でしたが、現在は皆年を取り、活動もずいぶん少なくなりました。梅雨明けに行う懇親日帰り旅行、秋は瀬田八幡宮の御旅所を設け、神輿を作り団地内を練り歩いていましたが、コロナにより、この2年は中止となりました。コロナ終息を待ち望み再開できるのを楽しみにしています。
- ②釣は「ふかせ釣」で50年、鯛・チヌ・グレ・メバルなど昼夜を問わず頑張っています。最近は長距離運転が億劫になりました。ゴルフは健康維持のため、月2～3回程度ラウンドしています。



発行責任者
議長 兼 本 信 昌

広報広聴委員長
灰 岡 裕 美

広 報 部
森脇 明美 中村 充子
上田 丈二 津島 宏保

一昨年より始まった新型コロナウイルス感染症のまん延により町民の皆様は日常生活が大きく変化されたことと思います。

私達も、議員として参加させて頂いていた町の行事や小、中学校の式典など全てに参加出来ない状況が続いており寂しい思いです。

日常の生活の安心、命を守ることの重要性については、コロナの危機感により身近に感じ不安を覚えた方も多いのではないのでしょうか。

同僚議員の中でも、町づくりについて、今後何が必要となってくるのか話すことが多くなっています。

新型コロナウイルス感染症のまん延が一刻も早く収まり、日常の生活が送れるようになることを願っています。

町民の皆様と一緒に、安心して暮らせる町づくりを考え作り上げていきたいと思います。

(上田 丈二)

編集後記